

ゲーム・誰の耳？

2～4人で遊べます。
対象年齢 3才～。

〈セット内容〉

動物カード、9枚 / 木製耳ブロック、21ヶ / 布袋、1枚

〈ストーリー〉

“これは僕の耳！”“いやいや私の耳だよ”と動物達がどの耳が誰の耳なのかで大騒ぎしています。みんながちゃんと自分の耳になるように手伝ってあげましょう。

〈ゲームを始める前に〉

子ども達にまず、“この動物は何？”“どんな鳴き方をする？”など話しかけながら、1つずつブロックを取り出し、“この耳は誰の耳？”といったふうにいっしょにお話しながら遊んでおくと小さいお子様でもすぐにゲームに馴染めるでしょう。

〈ゲーム1〉

※準備 動物カードを1人3枚ずつ(三角形の耳、丸型の耳、なみだ型の耳)各1枚とります。2人でプレイする場合は残りのカードは使いません。青色ブロック以外のブロックを袋に入れたら準備完了です。

※進め方 一番耳の大きい人、もしくは一番年下の人から時計回りにスタートします。順番がくると袋の中から2つ、ブロックを取り出します。自分の持っているカードの耳と、色も形も合っていたら、そのカードにはめ込むことができます。間違っていた場合、もしくは1つだけ間違っていた場合、間違えたブロックを袋に戻し、次の人の順番です。

※勝敗 いち早く、自分の手持ちカードの耳すべてを完成させることのできた人が勝ちです。

〈ゲーム2〉

※準備 全ての動物カードをみんなに見えるように置きます。青色ブロックも含む全てのブロックを袋の中に入れたら準備完了です。

※進め方 動物カード中にいる動物の耳の動きを上手に真似できた人、もしくは一番背の高い人から時計回りにスタートします。順番がくると袋から1つ、ブロックを取り出します。

・青い色のブロックだった→残念、袋に戻しましょう。

・その他のブロックだった→色も形も合った動物にはめ込みましょう。みごと動物のカードを完成できたら、そのカードをもらうことができます。

いずれの場合も次の人の順番です。

※勝敗 すべてのカードが無くなるまで続けます。カードが無くなった時点でより多くカードを持っている人の勝ちです。

〈ゲーム3〉

※準備 動物カードをよく混ぜ、3×3の正方形になるように並べます。青色ブロック以外を袋に入れ準備完了です。

※進め方 動物カードの中の動物に似ている人がいればその人、もしくは一番年上の人から時計回りにスタートします。

順番がくると袋から1つ、ブロックを取り出し、色も形も合う動物にはめ込みます。そして次の人の順番です。

※注: 前のプレーヤーが出した形のブロックと同じ形を続けて選択することはできません。もし出してしまったら、ブロックを袋に戻し次の人の順番です。(この回は動物にブロックを置くことができません。)

※勝敗 両耳の揃った動物3枚がタテ・ヨコ・ナナメいずれかに並ぶようになるための最後のブロックを置けた人の勝ちです。

※上級者ルール

青色ブロックを入れると少し難しくなります。(ゲームの進め方はゲーム3と同じです。)

- ・誰かが青色ブロックを出すと形の合う、まだ空いている好きな場所へはめ込むことができます。
- ・それ以降の順番の人が青色ブロックの置かれている所のブロックを出した場合、青色ブロックと出したブロックを交換することができます。(青色ブロックは、またどこかにはめ込んでください。)
- ・最終的に青色ブロックの置く場所が無くなった場合は、そのブロックはもう使わないのでどこか別の場所によけておきましょう。(勝敗のつけ方もゲーム3と同じです。)

小さなパーツが含まれているので、3歳未満のお子様が入れないよう、十分ご注意ください。



® 輸入販売元：

Good Toy & Good Childhood

株式会社 ブラザー・ジョルダン社